

音楽のおくりもの Information

Spire_M

中学・高校版
通巻第27号

p.2

「五音音階」と「箏」
を用いた創作活動
の試み

仙台市立田子中学校
佐藤 富治

p.10

コンピューターを
使った活動

福島県立光南高等学校
テクノアート音楽系列
渡邊 泉

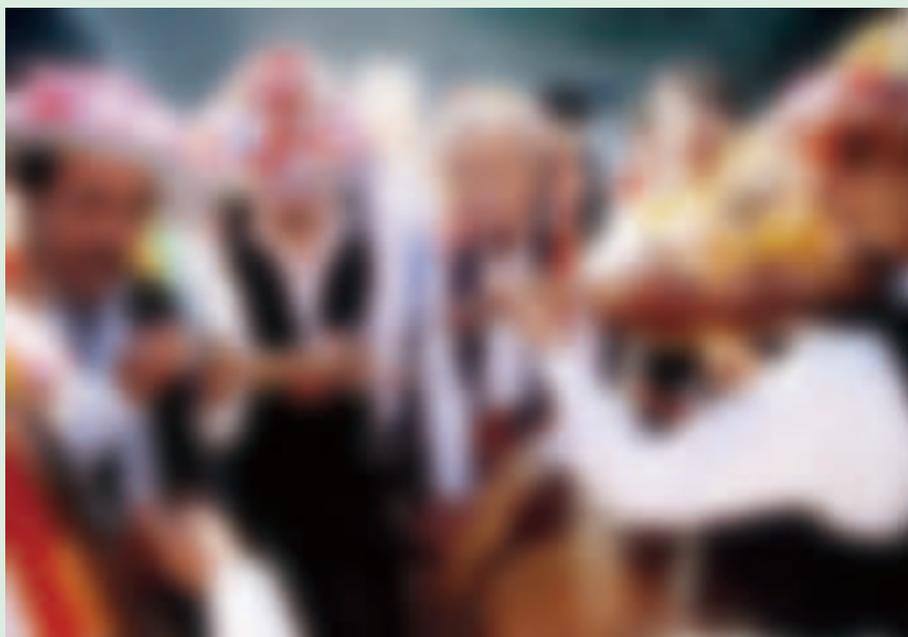
p.6

異国体験こぼれ話
—スペイン・
アンダルシア編—

帝京大学 桐原 礼

p.15

編集部からの
お知らせとお願い



「五音音階」と「箏」を用いた創作活動の試み

仙台市立田子中学校 教諭 佐藤 富治

私はかつて、選択教科が教育課程の中に位置づけられている時代、「創作」は「選択音楽」の中で深めるのがベストと考え、「作曲コース」と称して生徒を募集し、一般の授業での「創作」より学習内容を高めて活動させていました。もちろん集まってくる生徒は吹奏楽や合唱・ピアノ・電子オルガンといった、いわゆる何らかの形で音楽に携わり、楽譜がある程度読める生徒でしたから、「創作」があまり難しいという認識はありませんでした。しかし、教育課程の改訂により、授業時数の削減・選択教科の廃止になってからの「創作」は、正直困難を極めました。「音符の長さがわからない」「拍子の意味がわからない」「リズムがわからない」など、普段楽譜に慣れていない生徒や音楽を苦手とする生徒にとっては、「創作」の授業をかなり苦痛に感じていたに違いありません。

一般的に旋律づくりとなると、拍子や音符・休符・強弱記号・速度記号等の知識が必要となり、歌唱や器楽の学習のみでは、なかなか「創作」に結びつかないのが現状でした。そこで、あまり楽典の知識がなくても旋律づくりができる方法はないのかと模索しました。

本校では、「器楽」で「箏」を取り扱っています。「箏」は基本拍子というものがなく、テンポも特に指定されていないため、ある意味自由であり、楽譜も弦（糸）の番号が記されているだけで、比較的容易に演奏が可能です。本校2年生は1年生で「さくらさくら」の二重奏まで取り組みましたが、五線による楽譜が読めない生徒や記譜のできない生徒も、「箏」の楽譜ならば演奏が可能であることに目をつけました。

これらのことから、1年生で学習した既習曲のリズムを取りだし、そのリズムを適切に組み合わせることで、音をつけ、記譜は「箏」の楽譜どおり弦（糸）の番号とすれば、4小節から8小節間の簡単な旋律がつくれると考えました。また、音も五音に限定することで、創作しやすいように心がけました。

以下に示したものは、「第61回東北音楽研究大会仙台市大会」において、創作授業の一例として提供したものです。全国の中学校の先生方の創作授業の一助になれば幸いです。

※なおページ数の関係上、主な部分のみ掲載いたします。

五音音階の特徴を生かした旋律をつくろう

1 ● 題材の目標

- 箏の音色や五音音階の特徴に関心をもち、リズムや旋律をつくる学習に主体的に取り組む。
- 箏の音色や五音音階の特徴を知覚・感受しながら、音楽表現を工夫し、どのような旋律をつくるかについて思いや意図をもつ。
- 五音音階の特徴を生かして音楽表現するために、必要な技能を身に付けて旋律をつくる。

2●題材について

(1) 題材観

本題材は、五音音階の特徴に関心をもち、リズムや旋律をつくることをねらいとしている。日本の五音音階には「陽音階」をはじめ「陰音階」「都節音階」「民謡音階」などいくつかの種類があり、これらの音階を使った楽曲は少なくない。音が五音に限定されていることや、同じ音階でも音の並びが異なることで、そこから受けるイメージが広がり、創作することの喜びや楽しさを味わわせることができる。また、中学2年生ともなると、自分はこんなリズムにしたい、こんな旋律をつくりたいという独創性や主体性への要求が強く現れる時期でもある。表現に多様性のある五音音階を用いることで、自分のイメージを大切にしながら、「思いや意図」をもって旋律づくりができる題材と考えられる。

(2) 指導観

「陽音階」「平調子音階」「沖縄音階」の特徴を感じ取り、思いや意図をもって主体的に旋律づくりができるよう、以下の手だてで指導に当たる。

- ①昨年度「器楽」で学習し、演奏に自信をもっている「箏」を使用することで、創作活動に取り組みやすくする。
- ②五音音階を用いることで、イメージをもたせやすくする。
- ③1, 2年生の既習曲で取り扱ったリズムの使用を基本とすることで、比較的容易にリズムの組み合わせができるようにする。
- ④創作した作品が「個人の著作物」であることを意識させ、旋律をつくることのおもしろさや楽しさを味わわせるようにする。

3●題材の評価規準

ア：音楽への関心・意欲・態度	イ：音楽表現の創意工夫	ウ：音楽表現の技能
<p>① 3種類の五音音階の特徴に関心をもち、音楽表現を工夫しながら、リズムや旋律をつくる活動に主体的に取り組もうとしている。</p> <p style="text-align: right;">【関-①】</p>	<p>① 3種類の五音音階の特徴を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じている。</p> <p style="text-align: right;">【創-①】</p> <p>②自分が選択した五音音階やリズムを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、音楽表現を工夫し、どのように旋律をつくるかについて思いや意図をもっている。</p> <p style="text-align: right;">【創-②】</p>	<p>①五音音階の特徴や雰囲気を生かした音楽表現をするために必要な音の組み合わせ方などの技能を身に付けている。</p> <p style="text-align: right;">【技-①】</p>

4 ●指導と評価の計画（4時間扱い 本時3／4）

時	学習内容・活動	教師の支援および評価規準 ◇支援の方法 ♪評価 [方法]
第一次 ◎ 箏の奏法の確認と3種類の五音音階について理解する。		
1	<ul style="list-style-type: none"> ○ 箏の演奏法の確認をする。 ○ 3種類の五音音階について知る。 ・ どの音階を使って旋律をつくるか選択する。 ○ 選択した五音音階から受けたイメージを記録する。 <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="text-align: center;"> <p>陽音階</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>平調子音階</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>沖繩音階</p>  </div> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 礼儀作法・姿勢・奏法について復習させる。 ◇ 箏を用いて、3種類の五音音階を確認させる。 ♪ 3種類の五音音階の特徴を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じている。 <p style="text-align: right;">【創-①】 [ワークシート, 発表]</p>
第二次 ◎ 選んだ五音音階から受けたイメージを基に、思いや意図をもってリズム譜をつくる。		
2	<ul style="list-style-type: none"> ○ 選んだ五音音階から受けたイメージを基にリズムをつくる。 ・ 4小節か、8小節のどちらをつくるか選択する。 ○ 思いや意図をもってリズムをつくることのできたかを確認する。 <div style="text-align: center; margin-top: 10px;"> <p>リズム譜 サンプル</p>  </div>	<ul style="list-style-type: none"> ◇ リズムをつくるのが難しい生徒には、「リズム譜サンプル」の中から選択し、組み合わせを考えてもよいことを伝える。また、同じリズムを使用してよいことも伝える。 ♪ 3種類の五音音階の特徴に関心を持ち、音楽表現を工夫しながら、リズムや旋律をつくる活動に主体的に取り組もうとしている。 <p style="text-align: right;">【関-①】 [観察, ワークシート]</p>
第三次 ◎ 自分が選択した五音音階から受けたイメージを基に、それにふさわしい旋律をつくる。		
3	<ul style="list-style-type: none"> ○ 3種類の五音音階の構成音を確認する。 ○ 前時に考えたリズムを基に旋律をつくる。 ・ 二人で一面の楽器を使い、交互に創作を進める。 ○ できた旋律を発表し、感想を述べ合う。 	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 五音は全て使うよう指示する。 ◇ 教え合いながら創作を進めさせる。 ◇ 意図や工夫が見られた作品を紹介する。 ◇ 発表者は礼儀作法・姿勢に注意させる。

本時



♪自分が選択した五音音階から受けたイメージや、それにふさわしいリズムが生み出す特徴や雰囲気を感じながら、どのように旋律をつくるかについて、思いや意図をもっている。

【創-②】〔観察、演奏聴取、ワークシート〕

第四次 一人一人の作品の演奏を聴き、共有する。※この後は省略

5●本時の指導過程

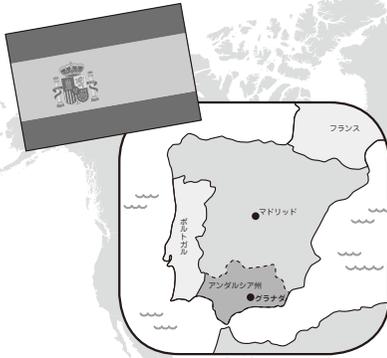
主な学習活動と予想される反応	◇指導者のかかわり・支援 ♪評価 [方法]
1 前時までの確認をする。 2 本時の目標を理解する。	◇3つの五音音階の構成音や創作上の条件、記譜の仕方等を「実物投影机」を使用して確認させる。
3つの五音音階から受けたイメージや、それにふさわしいリズムを生かした旋律をつくろう	
3 箏を使って、リズムを生かした旋律をつくる。 ・どのような音からはじめようかな。 ・うまく音がつながらないな。 4 数名の作品を聴き、それを参考にしながら創作を続ける。 ・〇〇らしくなってきた。 ・他の作品を聴いたら、私にもつくれそうだわ。 5 2～3名の発表を聴き、感想を述べ合う。 ・他の音階でもつくってみたい。 ・音階が変わると同じ箏でも響きが変わるね。 6 本時の学習を振り返り、次時の予告や連絡を聞く。	◇一人5分の割合で交互に創作するよう指示する。 ◇意図や工夫が見られた作品を発表させる。 ♪評価規準【創-②】〔観察、演奏聴取、ワークシート〕 [Aと判断される姿] 五音音階のもつ特徴や雰囲気を感じ取りながら、旋律をつくろうとしている。 [Cへの手だて] 五音音階の雰囲気が出るように、五音をバランスよく使うよう助言する。 ◇意図や工夫がみられた生徒の旋律を発表させる。 ◇実物投影机を使用し、楽譜を見ながら聴かせる。 ◇どの部分がイメージに合っていたかを中心に感想を述べさせる。 ◇次時に一人一人発表することを伝える。

異 国 体 験

帝京大学 桐原 礼

Hola!

こ ぼ れ 話



スペイン・ アンダルシア編

私は現在、スペインの音楽教育について研究しています。その関係で、スペインに滞在したり、スペイン人と交流したりする機会が多くあります。このような中で、研究テーマの音楽はもちろんのこと、食や生活スタイルなどから、文化の違いの面白さを感じることも幾度もありました。そこで今回はスペインの生活や文化などについて、特にスペイン南部のアンダルシア地方に滞在した時の、楽しい体験を綴ってみたいと思います。

スペイン人がよく踊るのはホントの話

スペインといえばフラメンコが有名ですが、これはロマ族（スペインではヒターノ）と呼ばれる民族特有の舞踊であるため、スペイン人の誰もが踊れる訳ではありません。しかし、一般的に、スペイン人が踊り好きなことは確かです。

スペインではよく自分の家や友人の家でホームパーティーをします。特に学生たちの間では、「今日の晩はあの家でパーティーがあるよ！」と誰を誘ってもよいので、訪れた家の中は人でいっぱい。もちろん座る場所などありません。ワインやサングリア（果物入り赤ワイン）を片手に、そこで出会った人々と踊りながらお喋りを楽しむのです。スペイン人にとっては、踊って楽しむことが生活の一部になっていると思われます。このような日常ですから、大きな祭りの時には、三日三晩音楽が鳴り続け、昼も夜も踊り続ける人々でいっぱいです。もちろん、子どもたちも大勢います。明日の仕事や学校は大丈夫だろうか…とつい不安になってしまうところが、自分はやはり日本人だなと感じました。

セビリア発祥のセビリャーナスは、祭りでよく見かけるとてもメジャーな舞踊です（写真1, 2）。これは、学校で習う機会があるなど、スペイン人ならたいてい踊ることができると言われており、「日本人にとっての盆踊りのような存在」とよくたとえられます。その見た目の華やかさから、すぐに盆踊りと結びつけることは困難ですが、昔ながらの庶民的な舞踊という意

味では通ずるものがあると思います。

踊り好きは、アンダルシア地方特有の文化かと思っていましたが、大晦日の夜、マドリッドに住むスペイン人の友人マリア宅に招かれた時のことです。一家団らの食事の途中で、「じゃ、そろそろ踊ろうか。」と、家族皆で踊り始めた時には、スペイン人がよく踊るのはホントの話だと確信しました。若者が踊った次には、マリアの父母がベアで楽しげに踊り、その後は、皆でディスコに出かけ、朝まで踊り続けたのでした。



【写真1】
セビリアの祭りにて。民族衣装を身につけた少女が、一人でステップを踏み始めた。



【写真2】
グラナダの祭りにて。
笑顔で華やかに踊る人々。

夜遊び天国！

スペインに初めてホームステイで長期滞在していた時のことです。私が夜に出かけない様子を見て、「若いのにどうして夜遊びに出かけないの？」と夫人にとっても不思議がられ、若者は夜遊びに出かけるのが当たり前なのだとされました。それからは、週末になると友人と夜遊びに出かけるようになったのですが、金曜日の夜ともなれば、バル（居酒屋）やディスコは、どこも人でいっぱい。若者だけではなくありません。シニア世代のカップルも多数みられ、老若男女問わず、そこで出会った人と共に踊って楽しむのです。場所を転々としながら、朝まで飲んで踊り続ける人々が、なんとたくさんいることでしょうか。真冬の極寒の夜中（スペインの冬は意外と寒い）でもこのような状態ですから、皆、かなりの夜遊び好きと言えるでしょう。

そして、夜10時くらいになっても、バルが多く立ち並ぶ付近では、子どもたちが遊んでいる光景をよく目にします。「どうして子どもがこんなに夜遅くまで外で遊んでいるの？（教育上良くないのでは?）」と聞くと、「子どものうちから少しずつ夜遊びに慣れていかないといけないでしょ。」「居酒屋付近は人がいっぱいいるから安全なんだよ。」という返答。なんと大らかな文化だろうと、妙に感心してしまいました。確かに、日本のように酔っ払いほとんどいないので、店の明かりがあって人が大勢いるという意味では「安全」と言えるのかもしれませんが。日本だったら「健全」かどうか問われそうですが…。

スペイン人の食の好み

スペイン料理は日本人に合うとよく言われますが、その食べ方は日本人とちょっと違います。キーワードは「いつでもパン!」。どんなメニューであれ、必ずパンと共に食べるのです。例えば、パエリア（米料理）とパン、パスタとパンなど、どちらが主食?と誤ってしまいますが、そのくらい、スペイン人にとってはパンの存在が重要なようです。また、昼食が一番大きな食事となり、食事とともにワインを飲むことが多いのですが、「どうして仕事の合間にアルコールを飲んで平気なの?」と聞くと、「別に酔っぱらう訳じゃないし、構わないでしょ。」とのこと。なんともリラックスした文化ではありませんか。日本だったら、工作中にアルコールの匂いを発しながら…というのは考えられない状況ですね。私もスペイン人を真似て昼食にワインを注文したことがあるのですが、料理は日本の2~3倍のボリュームがあり、ワインもグラスからこぼれるほど注いであって、たくさん残してしまったことがあります。店員さんに、「日本人は皆そうなんだよね。」と苦笑いされたことを覚えています。

また、バルでは面白い習慣があります。スペイン人は、おつまみにオリーブを沢山食べるのですが、オリーブの種やようじ、紙ナプキンなど、食べたそばからポイっと床に捨てるのです。床はまたたく間にゴミだらけ。私ははじめのうちは躊躇していましたが、一回やってみたら、何と気持ちの良いことでしょうか! 食べては投げ捨てるを繰り返すうちに、ストレスが解消できてしまうような、そんな爽快感がありました。(スペイン人の友人によれば、これはアラブ文化の影響で、アンダルシア地方限定の現象だそうです。スペイン人誰もがこのようにすると思わないでほしいと言われました。)

色濃く残るアラブ文化

アンダルシア地方は、アラブ文化が深く浸透している土地柄です。8世紀からレコンキスタ完了の1492年まで、スペインは北アフリカからのイスラム勢力によって支配されており、最後の砦となったのが、グラナダのアルハンブラ宮殿です。エジプト人留学生と共にアルハンブラ宮殿を訪れたときのこと。彼女は、宮殿の壁画の中の文字を読むことができると言うのです。私たちにとっては、単なる美しい模様に見えるものが、彼らにとっては、現実にここで同じ文化をもった人々が生きていたことを実感できるものになっているのでしょう(写真3)。

グラナダの街の中には、モロッコから来たアラブ人経営の店が多数あります。スペインではコーヒー店がたくさんあり、一般的にはお茶はあまり飲まれないのですが、グラナダの“アラブ通り”には、幾つものアラブ喫茶店(テテリーア)があります。照明の明かりを落とし、アラブ風インテリアの店内にて、絨毯の上に座って甘いミントティーを飲んでいると、とてもリラックスした気分になります。モロッコは日本と同様に、イスではなく床(絨毯)の上に座る文化であることも、長いスペイン滞在の中、とても癒される場所となる理由でした。ここではアラブ音楽のコンサートが開かれることがあり、弦楽器ウードと太鼓ドラブッカの伴奏に合わせて、魅惑的な歌声を披露してくれます(写真4)。



【写真3】
アルハンブラ宮殿内の壁画。よく見ると、アラビア文字が書かれている。



【写真4】
グラナダのアラブ喫茶店にて。ウッドとダラブッカの伴奏によるアラブの歌の演奏。

アフリカはこんなにも近い！

ヨーロッパの一国であるスペイン。しかし、ジブラルタル海峡（イギリス領）付近のスペイン南端からアフリカ大陸までは、実は十数キロしか離れていないのです。アンダルシアにてアラブ文化に魅了されていた私は、ぜひモロッコにも行ってみたい！と、スペイン滞在中にモロッコのタンジェに一人旅をしたことがあります。港から小さな漁船のような船に乗り、少し経つと、すぐ目の前にアフリカ大陸が見えてきました。ヨーロッパにいと、アフリカ大陸は遠い彼方と思いがちですが、実は、こんなにも近いのです。手漕ぎボートのようなものでスペインに密入国する人々がいるという話にもうなずけます。ずっと遙か昔から、アラブ人とスペイン人は交流してきたのだと改めて実感しました。



スペイン・アンダルシア地方には、今回ご紹介したところ以外にも、オペラ〈カルメン〉の舞台となったセビリア、世界最大級のメスキータ（イスラム教礼拝堂）で有名なコルドバ、ピカソの生まれ育ったマガラなど、様々な見どころがあります。また、シェリー酒、生ハム、タバス（おつまみ）などスペイン料理をはじめ、モロッコのクスクスやタジン鍋など、スペインにいながらアラブ文化を楽しむこともできます。アンダルシアにて、人々とふれあいながら生活の様子について知る中で、日本での暮らしよりもゆったりとした時間の流れと、人々の大らかさを感じました。また、この地に様々な文化が流れ込み、混合してきた長い歴史について、思いをはせることができました。文化は、それぞれの地に脈々と受け継がれてきた、人々の考え方や好みの表れであることを知ると、より異文化体験を楽しめるのではないのでしょうか。

2. 音楽の味方，魔法の小箱 Mac

従来から Mac が音楽や美術など芸術分野で重宝されてきた理由のひとつに、直感的操作が可能な点があげられます。芸術的な作品制作においてパソコン操作にかかる余分なストレスなしに制作活動に専念できる点は、とても重要なポイントです。また、WindowsOS の誕生以前から、音楽に特化した装備や卓越したソフト環境が整っていたことも、音楽制作において優位な点と言えるでしょう。

3. Mac を中心とした各班の活動

次に、演奏会までの班活動の流れ、使用ソフト、部の組織について紹介します。部員は前述した「演奏部」と演奏会全般の準備運営をする「制作部」の両方に所属します。

【活動の流れ】

活動	部	(班)と内容	Mac & ソフト
1 作曲or編曲	制作部	(作曲班) オリジナルの場合 (編曲班) 既存曲の場合 機材配置や人数に合わせてパートの種類やパート数を決める	Logic
2 譜面作成	制作部	(楽譜製作班) パート譜／歌譜 フルスコア	Logic
3 パート練習	演奏部	(シンセ班リーダー) パート指導 演奏には主に右記の音源を使用	音源ソフト Vienna Philharmonic ivory Galaxy Logic内蔵 他
		(楽器班リーダー) パート指導	
		(声楽班リーダー) パート指導	
4 合奏	演奏部	(演奏部長) 全体指示 通常練習は演奏部長が行う 定期的に顧問の合奏指導	同上
	音響部	(音響部長)によるミックス指示 最終ミックスは顧問の指示で行う	
5 準備	制作部	(制作部長) 全体演出	Excel
		(広報班) HP、チラシで演奏会告知	Dream W.
		(アナウンス班) アナウンス、ナレーション原稿	Word
		(進行班) ステージ進行	Excel
		(照明班) ピンスポ、 Horizont照明一覧	
		(撮影班) マルチカメラ撮影アングル	
6 演奏会	全体	本番	MacBook/Logic
7 記録	音響部	(録音班) 録音、CD作成	Toast
	制作部	(撮影班) 映像編集、DVD作成	Finalcut pro

(1) 組織役員

[総括部] 部長・副部長・会計

[音響部] 部長・副部長

PA 班・REC 班の各リーダー

[演奏部] 部長・副部長

声楽班・器楽班・シンセ班の各リーダー

[制作部] 部長・副部長

作曲班・楽譜班・演出班・広報班

アナウンス班・美術班・照明班・

撮影班の各リーダー

(2) 使用パソコン

[教室] iMac 27inch

[本番] MacBook Pro 17inch

* 演奏会では大型の iMac に代わり搬出可能な MacBook Pro を使用する

(3) 使用ソフト

大別して音楽系・美術系・文書系があります。ここでは、誌面の関係から音楽系の音楽統合ソフト「Logic Pro」と2種類の音源ソフト(オーケストラ、ピアノ)に絞

り、上の表【活動の流れ】から「活動」の項目に沿って次ページに説明します。

4. 音楽統合ソフト Logic Pro (Apple 社)

(1) 作曲 or 編曲 [制作部] (作曲班/編曲班)

生徒は通常、作曲において編曲作業を同時進行でこなしていきます。この時点で用いるものが「MIDI音源」と「録音機能」です。合奏時、MIDI音源は「各シンセパート」になり、録音されたパートは「歌や生楽器」で演奏します。MIDI音源には、シンセサイザー本来の「電子音源」と、アコースティック音を完璧な音質で演奏できる「ソフト音源」があります。

次に使用するのが「MIX機能」です。一概にMIXと言ってもスタジオ・レコーディングと同じく音量や音質、更には残響等を細かく調整しながら作曲者のイメージにより近づけていくために重要な過程です。演奏会ではステージ上の音響班が、これを忠実に再現します。

(2) 譜面制作 [制作部] (楽譜製作班)

作曲の段階から、シンセサイザー部を構成する楽器の種類やパートの人数を考慮しながら制作を進行していきます。その際、楽譜は演奏と同時にリアルタイムに表示され、その精度は楽典に沿って正確、かつ音楽的なものです。パート譜とフルスコアとが同時に作成可能です。更に歌詞が必要な歌譜では、音符の下に自動的に歌詞が割り振られます。旋律からはギターのチャート譜や、使用した和音のコード名が、いずれもリアルタイムで表示され、これら一連の音楽的な機能を駆使してパート譜やフルスコアを製作します。

(3) パート練習及び合奏 [音響部] [演奏部]

●音響部 (Digital Mixer & Digital Recording)

作曲者により作品に施された各パートの強弱表現や音質、更には残響空間の再現に至る一連の音楽的な表現を、曲ごとに編成された音響班3～4名のチームが、4台のミキサー合計64チャンネルにも及ぶミキシングをリアルタイムに実行します。

●シンセ班 (Mac & 音源ソフト)

オーケストラ、パイプオルガンから和楽器までを、14台のMacとキーボードが奏でます。どの音源も極めて美しい音色と表現力をもち、機械という概念はもはや存在しません。

●器楽班 (Mac & ウィンドシンセサイザー)

クラリネットの形をしたウィンドシンセは、鍵盤楽器では表現できない強弱表現が可能のため、Macから供給されるオーボエや篠笛といった木管楽器類の演奏に最適です。また、ヴァイオリンやアコースティック・ギター等はマイクで集音し、音響班がMIXします。

●器楽班 (Mac & ドラム, パーカッション)

グラミー賞受賞者たちにより常に創り出されるドラムや非常に希少なパーカッション等の打楽器音源は、Macと接続してある電子ドラムによってパワフルな演奏を可能にします。

●声楽班 (Mac & Logic)

Logicの録音機能を利用してソロやコーラスのトレーニングを行います。常に自分の生の声と向き合うことにより、歌唱表現にオリジナリティーを与えます。

5. 音源ソフト

(1) オーケストラ音源「Vienna」と「Vitous」

Vienna は、音源を製作するために音響が優れた専用のホールを建設して、超一流のオーケストラを招き何年もの年月をかけ録音し、演奏上考えられる全ての奏法をソロから各セクション・アンサンブルに至るまで、オーケストラの全楽器を網羅したモンスター音源です。音質もクラシック音楽のレコーディングと同様、最高級のマイクを使用し、著名な録音エンジニアが臨んでいます。従って制作費は億単位となり音源は100万円前後と高額です。

また、チェコ・フィルハーモニー管弦楽団を招きドボルザークシンフォニーホールで2年の歳月をかけた音源 Vitous は、既にプラグイン化され数万円で購入できます。かつては5～60万円で市販されていたものを更にアップグレードしたものですから、決して悔えることはできません。シンセ部では一部の Mac に Vienna を、全ての Mac に Vitous を入れています。良質なアコースティック音が必要な場合には必ず使用します。

(2) ピアノ音源「Vienna」「Ivory」

ベーゼンドルファーのインペリアルやスタインウェイ D タイプ、最近ではファツィオリ等、音源の中でも特に数が多くバリエーションも豊富です。一昔前には音源の容量が1メガ程度でしたが現在ではその最高で5万倍、50ギガの容量をもつ Vienna や世界最高の音質と称された Ivory 等、演奏スタイルや好みによって贅沢な選択ができます。

6. 最後に

今や芸術の世界はパソコン抜きでは語れない現状があります。下の2枚の写真はいずれも全国規模の大会での演奏風景です。生徒にとってパソコンはスマートホン同様に特別な存在ではなく、音楽を創造したり表現したりするために必要なアイテムとなっています。私たちは、芸術のアカデミックな部分を大切に守りながら、パソコンをどのようにして活用し共存させていくか、今後ますます重要な課題となっていくでしょう。



第20回全国まなびピアノ 総閉会式



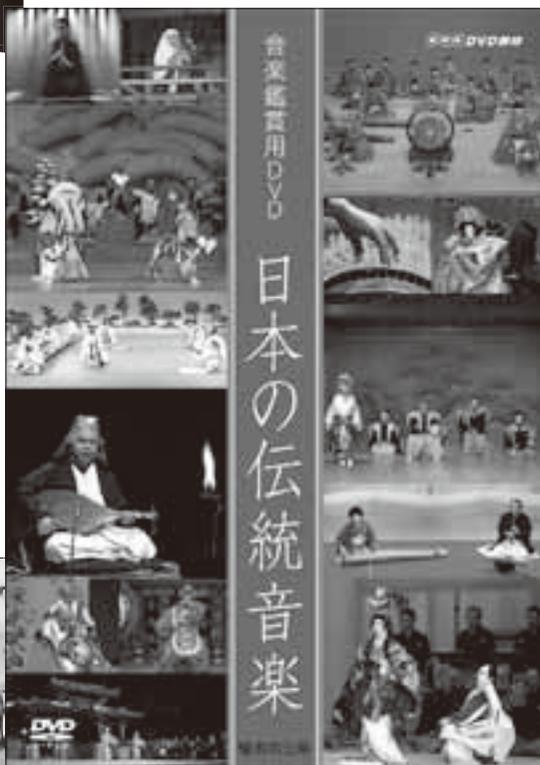
第35回全国高校総合文化祭 器楽管弦部門

音楽鑑賞用DVD

日本の伝統音楽

● 主な収録曲 ●

能「俊寛」
人形浄瑠璃「平家女護島」
歌舞伎「平家女護島」
長唄「京鹿子娘道成寺」
平曲「那須与一」
歌舞伎「連獅子」
人形浄瑠璃（文楽）「国性爺合戦」
江差追分
谷茶前 など約30コンテンツ収録



世界の諸民族の音楽

● 主な収録曲 ●

ゴスペル（アメリカ）
ホーミー（モンゴル）
ヨーデル（スイス）
バグパイプ（イギリス・スコットランド地方）
グリオの語りと音楽（西アフリカ）
タブラー・シタール（インド）
バラライカ（ロシア）
アルファー（中国）
カヤグム（朝鮮半島）
ケチャ（インドネシア・バリ島）
ガムラン（インドネシア・バリ島）
イヌイトの喉遊び歌（カナダ・アラスカ等）
仮面劇「コーン」（タイ） など約40コンテンツ収録

各収録時間 約70分

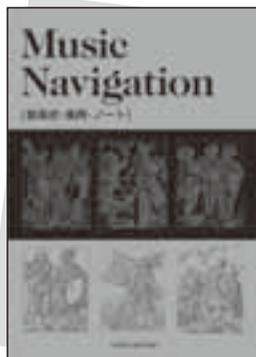
各本体 15,000円+税

制作 NHKエンタープライズ

発売 教育出版

Music Navigation

指導要領にあわせて
全面改訂



- 1 音楽史、楽典の内容を高校教科書の内容にあわせて大幅改訂しました。
- 2 あらたに「ソルフェージュ」「スコアの読み方」「新曲視唱」を掲載しました。
- 3 オーケストラの変遷がビジュアルによって理解できます。
- 4 五線紙や鑑賞の記録、メモ帳も充実していますので、学習の記録を残すことができます。

B5判 136ページ／別冊解答付／本体552円＋税

編集部からのお知らせとお願い

平成25年度用高等学校教科書（「音楽 I Tutti」「高校音楽 I Music View」）の下記の箇所にて訂正がございます。また、教師用指導書におきましても関連修正箇所がございます。大変恐縮でございますが、ご指導の際には、ご配慮くださいますようお願い申し上げます。

● 音楽 I Tutti

ページ	行・箇所	原文	訂正文
14	縦歌詞 8、12行目 11行目	故郷 ふるさと	故郷 故郷
31	4段3小節目		
58	1段4小節目	とーころに 	
110	弦楽器と協奏曲 4行目	ヴァイオリン族	ヴァイオリン属
112	交響曲第5番 10行目	平行調の ホ長調 へ転調し	平行調の 変ホ長調 へ転調し

● 高校音楽 I Music View

ページ	行・箇所	原文	訂正文
34	1段4小節目	とーころに 	
41	縦歌詞 11行目	ふるさと	故郷
54	左下 2、3行目	後年、 <u>ピアノ五重奏曲の終楽章</u> の	後年、 <u>『ピアノ五重奏曲イ長調 D667 op.114』第4楽章</u> の
79	右上		
79	右上	琵琶：後藤幸造	琵琶：後藤幸造
131	弦楽器と協奏曲 4行目	ヴァイオリン族	ヴァイオリン属



第12回

地球となかよしメッセージ

作品募集(2014年度)

「地球となかよし」という言葉から感じたり、考えたりしたことを、
写真(またはイラスト)にメッセージをつけて表現してください。

応募者全員に
参加賞が
もらえるよ!

応募資格 小学生・中学生(数名のグループ単位での応募も可)

応募期間 2014年7月1日～9月30日
詳細は「優秀作品展示室」とあわせてホームページをご覧ください。

**作品
テーマ**

- ①身のまわりの自然が壊されている状況を見て感じたことや、自然環境や生き物を守るための取り組み
- ②さまざまな人との出会いを通して、友好の輪を広げた体験、異文化交流、国際理解に関すること
- ③その他、「地球となかよし」という言葉から感じたり、考えたりしたこと

◎主催/教育出版 ◎協賛/日本環境教育学会
 ◎後援/環境省、日本環境協会、全国小中学校環境教育研究会、毎日新聞社、毎日小学生新聞
 *協賛・後援団体は昨年実績で、継続申請中です。

応募の決まりなど詳しくはホームページを見てね

<http://www.kyoiku-shuppan.co.jp/>

教育出版

「地球となかよし」事務局 TEL 03-3238-6862 FAX 03-3238-6887
〒101-0051 東京都千代田区神田神保町 2-10

前回
入選作品



ぼくらは、守られている

この写真なんだかわかりますか。これは、ぼくの小学校の前の道だ。この道には、青とオレンジと白色の三角のつがった形の変わったもようがかかっている。
 これは、スリッドシートという名前のもようで、車を運転する人には、道がでこぼこしているように見えて、注意し、ゆっくりと走ってもらうためのものだそうだ。
 ただの落書きではなく、ぼくたちみんなを守るためにえがかれていることがわかった。ぼくらが毎日安全に登校できるのは、このような変わった形のもようのおかげなんだなあと思った。
 運転手さん、このもようを見たら、ゆっくりやさしく走ってくださいね。

中学・高校音楽通信 **Spire_M** [2014年春号] 2014年3月31日 発行

表紙写真: ©JTB フォト

編集: 教育出版株式会社編集局 発行: 教育出版株式会社 代表者: 小林一光

印刷: 大日本印刷株式会社 発行所: 教育出版株式会社

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町 2-10 電話 03-3238-6864 (お問い合わせ)
URL <http://www.kyoiku-shuppan.co.jp>



なかよし宣言

わたしたちをとりまく自然や社会は、科学技術の進展や国際化、情報化、高齢化などによって、今、大きく変わろうとしています。このような社会の変化の中で、人間や地球上のあらゆる命がのびのびと生きていくためには、人や自然を大切にしながら、共に生きていこうとする優しく大きな心をもつことが求められています。

わたしたちは、この理念を「地球となかよし」というコンセプトワードに込め、社会のさまざまな場面で人間の成長に貢献していきます。

- 北海道支社** 〒060-0003 札幌市中央区北三条西 3-1-44 ヒューリック札幌ビル 6F
TEL: 011-231-3445 FAX: 011-231-3509
- 函館営業所** 〒040-0011 函館市本町 6-7 函館第一生命ビルディング 3F
TEL: 0138-51-0886 FAX: 0138-31-0198
- 東北支社** 〒980-0014 仙台市青葉区本町 1-14-18 ライオンズプラザ本町ビル 7F
TEL: 022-227-0391 FAX: 022-227-0395
- 中部支社** 〒460-0011 名古屋市中区大須 4-10-40 カジウラテックスビル 5F
TEL: 052-262-0821 FAX: 052-262-0825
- 関西支社** 〒541-0056 大阪市中央区久太郎町 1-6-27 ヨシカワビル 7F
TEL: 06-6261-9221 FAX: 06-6261-9401
- 中国支社** 〒730-0051 広島市中区大手町 3-7-2 あいおいニッセイ同和損保広島大手町ビル 5F
TEL: 082-249-6033 FAX: 082-249-6040
- 四国支社** 〒790-0004 松山市大街道 3-6-1 岡崎産業ビル 5F
TEL: 089-943-7193 FAX: 089-943-7134
- 九州支社** 〒812-0007 福岡市博多区東比恵 2-11-30 クレセント東福岡 E 室
TEL: 092-433-5100 FAX: 092-433-5140
- 沖縄営業所** 〒901-0155 那覇市金城 3-8-9 一粒ビル 3F
TEL: 098-859-1411 FAX: 098-859-1411